

『管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問 第2回訪問』を終えて。  
**学校経営を「一歩先へ！」進め、  
こんな学校にしていきたいと思います！**

学校訪問、  
大変お世話に  
なりました。

## 学校訪問から見えてきた学校力が向上している学校の特徴

学校として目指す方向性（どんな学校にしたいか）がはっきりしている。

（例）自己肯定感を高めるため、授業の中で認め励ます言葉かけがどの学級でもあふれている。

授業改善に向けて、学校全体で取り組んでいることが見える。

（例）1時間の流れを意識させるため、視覚的な掲示物がどの授業でも活用されている。

授業5を基本に据えながら、明確なねらいのもとに学習活動が多様に展開されている。

（例）しっかりとした単元計画のもとに、その時間のねらいに基づいた授業展開がなされている。

管理職や主幹教諭・指導教諭、授業改革推進員等の指導・助言が生きている。

（例）管理職等が授業をみてフィードバックしたことが、どう生きているか確認している。

教員の同僚性が高く、OJTが機能し、組織力アップにつながっている。

(例) 学校経営の柱に人材育成の視点があり、OJTが機能する仕組みづくりを行っている。

落ち着いてきたことでストップせず、さらなる向上を図ろうとしている。

(例) 落ち着いてきた時こそ、さらなる授業改善のチャンスととらえて取り組んでいる。

教員の表情が明るく、子どもたちが生き生きと活動している。

(例) 授業をしている先生がにこやかで、子どもたちの声がしっかりと聞こえてくる。

**A P を活用してこんな学校にしていきたいと思います！**

第16号②

目標の達成に向け、教職員が主体的かつ組織的な取組を行うシステムを確立する。

※ 知徳体の向上等に向け、学校の具体的な目標や取組を設定し、全教職員での共通理解の下、その達成のために学校全体で検証・改善が繰り返されるシステムを構築する。

目標達成に向けた意思決定や取組の推進基盤となる学校運営体制を確立する。

※ 校長等管理職の下、ミドルリーダーたる主任等が効果的に機能を果たす学校運営体制を構築する。